

認知症 注意課題ドリル SOAP 記録シート

短時間・同条件・手がかり記録で、次回の設定に残す

氏名/ID		評価日		評価者	
実施場所		時間帯		同席者	

1. 実施前チェック（開始 30～60 秒で判断）

<input type="checkbox"/> 覚醒：声かけで注意が向く	<input type="checkbox"/> 理解：1段階指示が通る	<input type="checkbox"/> 視認：文字/図形を追える	<input type="checkbox"/> 姿勢：10分座位が可能
<input type="checkbox"/> 疼痛/息切れが強くない	<input type="checkbox"/> 拒否/不安が強くない	<input type="checkbox"/> 周囲刺激を調整済み	<input type="checkbox"/> 眼鏡/補聴など確認

2. 同条件メモ（次回も同じ条件で取り直す）

項目	記入欄
課題名・目的	例：選択注意 / 見落とし確認 / 最後まで着席
環境・姿勢・視認	時間帯、騒音、机上物、座位、眼鏡、照明
指示・手がかり	定型指示、口頭ヒント、指差し、例示の回数

3. SOAP 記録欄（点数より「条件と支援量」を残す）

S：主観情報 発言、不安、拒否、疲労感など _____	O：客観情報 完遂時間、ヒント回数、見落とし、中断、離席 _____
A：評価 できた条件、ばらつき背景、負荷の妥当性 _____	P：計画 次回の量・密度・時間・手がかり、生活課題への接続 _____

4. 次回調整（1変数だけ変更）

調整軸	維持/下げる	上げる	次回メモ
課題量	設問数を減らす	設問数を増やす	
刺激密度	余白を広くする	似た刺激を増やす	
手がかり/時間	ヒントを増やす	ヒント減・時間意識	

5. まとめメモ（チーム共有）

今回の判断： 維持 進級 戻す 生活課題へ切替
